

Mランドニュース Vol.148

丹波ささ山校 令和元年7月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

「その悲しみは宝物だ。これからの財産になる。最初は落ち込むけど、こころのギアチェンジをする」

株式会社タニサケ 松岡 浩会長

平成21年5月6日 弊社講話より

環境月

共習チーム 石橋 学

閑散期という言葉がありますが、Mランドではこれを「環境月」と呼んでいます。

これは、次のシーズンを迎えるにあたり、さまざまな観点から環境を整え、万全の体制を期すことからこう呼んでいます。

今年の環境月も、全てはゲストのため、「より以上」を目指し、さまざまな取り組みを行いました。

その中の一つが、指導内容の見直しと、職員間のコミュニケーションを目的とした研修会です。



ゲストにとってバックは難しいもの

「人はそれぞれ」と、良い意味で捉えることもできませんが、教習に関して個々が思うようにやっている、ゲ

ストにとって困惑を招いてしまっています。

そこで私たちは環境月を利用して、グループディスカッションを何度も重ねました。

それぞれの考えを主張するのではなく、お互いの考えを尊重し、承認することを大切にしたい。ディスカッションは、これからの教習、そしてゲストの皆さまに、良い影響をもたらすことを確信できるものとなりました。

これからもMランドは、ゲストのために、よりよい環境を築き上げていきます。

宿泊体験記

営業チーム 近藤 正幸

六月二十二日(土)に、Mランドの宿泊体験会を行いました。

丹波篠山を拠点に、地道に農業研修に取り組まれている、農業サークルの皆さんとは、約六年前からのご縁で、送迎など側面からのご支援をさせていただいております。

この日はMランドの卒業生二名を含め七名がお越しになり、所内コースで卒業生の

運転チェックをさせていただくなど、楽しい二日間となりました。

後日感想文をいただきましたのでご紹介いたします。

辰見 毅様

親から、「合宿免許なんて、汚くて暗い部屋に、二週間詰め込まれる」と聞いていたもので、宿泊施設がとってもきれいで驚きました。

スタッフの方も個性豊かな方が多く、フレンドリーでも楽しそうだと思います。

また、宿舍の窓から見える見渡す限りの田園風景に、心が浄化されます。

雰囲気も良さげなので、免許取得の際は是非来たいと思います。

ありがとうございます。



雲に手が届きそうな風景(ホーム窓より)

鈴木 香織様

卒業して一年半ぶりにMランド帰ってきましたが、皆さん昨日のことのように出迎えてくださり、本当に嬉しかったです。

インストラクターの皆さんも、以前と変わらず接してくださり、滞在中に戻った気持ちになりました。

楽しかったホーム生活は、二度と経験できないものだと思いますが、今回仲良しのサークル仲間と、楽しい時間を過ごすことができました。

丹波篠山は食べ物もおいしく、農業を中心に人々が地域を愛しているのがよく伝わってきます。

こんな丹波篠山を第二の故郷として、これからも来るのを楽しみにしております。



友だちとなら美味しさも倍増!

手話研修

愛(あ)チーム 前川 昂希

丹波篠山ろうあ協会、大内和彦様と白井実加様から手話や指文字を習いはじめ、六年目を迎えました。

環境月には月一回、教習前の四十五分間、楽しく学んでいます。

今回は、全国四十七都道府県の名前を手話で覚えるという内容でした。

習い始めたころの私たちが、覚えきれない数でしたが、今ではすぐに理解出来るようになり、手話が身近なものになってきました。

しかし、使わなければすぐに忘れてしまいますので、日々の繰り返しは大切と痛感しています。



覚えてくると楽しいものです

切磋琢磨

やわらぎ
寝チーム岸 恒三郎

毎朝、十分間の「そうじのカプロジェクト」は、六年目を迎えており、各班がそれぞれの持ち場を、試行錯誤しながら取り組んでいます。

例えば同じタイトル磨きでも、一枚一枚コツコツと手作業で磨く班。専用の機械を使い、一気に仕上げる班。

また、他の班のやり方が気になり、ようすを見にくるなど、取り組みに対する意識は、六年目を迎えた今でも、しっかりと維持しているようです。



機械を使って丁寧かつ、手際よく

いずれも「これが正解」というものはありません。目的は「気付きの感度」や、「問題解決力」、「社員間のコミニ

ケーション」を上げること、株式会社そうじのカ 小早祥一郎氏はいつもこう言われます。

先般、全社員にこの取り組みに対する、意識調査を行いました。

調査結果から見えてきたものは、まさに前述の目的そのもので、良い影響は職場だけでなく、家庭にも波及しているという意見もあり、喜びを感じました。

これらを継続していくことで、また新しい発見、成長へと繋げていきます。



手作業で小さい汚れにも妥協せず

合宿を終えて

合宿でお越しになられたいた澤田莉奈様。ひと際明るく、私たちMランドスタッフとも、いつも笑顔でお話されていました。

合宿を終えられたあと、大変嬉しい感想文をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

十三日間の合宿免許を終えて、特に印象に残っているのは素敵なインストラクターが多いということ。

というのも、運転の時に質問をたくさんしましたが、同じ目線とペースで指導していただき楽しく学べるよう、気さくに話しかけていただいたからです。

こんなインストラクターと関わることがなによりも嬉しかったです。

ホームは思っていたよりも綺麗で、生活マナーや共同スペースの不快感もなく、快適に過ごすことができました。食事もお全てがおいしく、健康にも十分配慮され、食事の時間を毎日楽しみに過ごしていました。

私は一人で合宿に参加しましたが、予想以上に楽しく、満足のできる合宿生活となりました。

澤田様同様、これからもすべてのお客さまに、ご満足いただけるよう取り組んでまいります。

私とMランド

営業チーム 林 美枝



女性ゲストのよき相談相手、林INS(中央)

一泊二日の益田研修から十四年の月日が流れました。家族に託した当時三歳の娘の下痢が治まらないとの連絡に、益田で不安な気持ちで一夜を過ごしたことを今でも忘れることはできません。研修はそれまでの私の感覚が大きく変わり、以後の仕事に大きな影響を与えてくれました。

私たちは篠山に戻り、Mランドの三種の神器「挨拶」「掃除」「葉書」を、とにかくやってみました。するとその意味が少しずつ理解できるようになりました。

編集後記

小河前会長は私たちに「これからは心の時代」と言われ、教習やボランティアを通して、「若者に生きる勇気と希望」を与えられる教習所にと願われました。

今月のありがとうカード

Mランド丹波ささ山の皆様
この度は、こちらの合宿でご指導いただき、ありがとうございました。要領がわるい自分に対して、丁寧に指導していただいたおかげで、無事卒業することができました。これから免許を取得し、そこからドライバースタートするので、常に謙虚な気持ちで、「give way」<譲>ができるドライバーになるようがんばります。 大西 孝裕 様

長距離選手を目指していたH君。中学の駅伝大会中、意識を失い倒れたことがありました。志をもって高校に入学したものの、これを理由に入部を拒否され、目標を失い「ひきこもり」。

Sさんは、学校でいじめを受ける中、唯一の居場所であったスイミングスクールで、記録が伸びないSさんにコーチの一言、「お前、死ぬ」と言われ、「ひきこもり」。

このお二人、縁あって八尾彰一監督と出会い、トライアスロンの道へと進みました。トライアスロンを通して、「よろこびを分かちあう」をテーマに、人の成長に取り組みされているチームプレイで、今やその実力をめきめきと伸ばしておられます。

H君は、国体の代表選手の一人に。Sさんは、滋賀県で行われる地方大会に向け、日々トレーニング中。「挫折は勲章」と、我がことのように目を輝かせ、お話をくださった、トイレ掃除を終えた八尾監督でした。(徹)

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

7/15(月) 八上小学校 西トイレ
(AM8:00~9:00 担当:前川)

7/21(日) 篠山中学校 運動場トイレ
(AM8:00~9:00 担当:中野)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。